

ZENBUTSU

全日本



No.
571

仏暦2554年8月
[2011年]



寺崎島のはらほげ地藏さま — 撮影 仏像ガール®

目次	第2回 理事会 第1回 評議員会・参与会開催	2
	「原子力発電所事故について」の理事長談話	3
	加盟団体をゆく 第43回 法相宗	4
	指定寄附金制度の運用説明会開催	6
	東京お盆まつり	7
	埼玉県佛教徒大会	7
	各団体の被災地支援について	8
	救援基金募集のお知らせ	9
	被災地への腕輪念珠の寄贈について	17
	「福島第一原子力発電所事故から子どもたちを守る要望書」を 菅直人内閣総理大臣へ提出	20
	真言宗大覚寺派・静岡県仏教会より救援基金への寄付	20

第二回理事会 第一回評議員会・参与会

五月三十一日、リーガロイヤルホテル京都にて開催された。

開会式ののち、本会寄附行為に基づき、理事会議長に有田恵宗理事長、評議員会議長に互選で前阪良憲評議員（滋賀県仏教会）が選出された。

理事会議案第一号

現行寄附行為上の評議員の変更について承認を求める件

審議の結果、以下のとおり賛成多数で承認された。

退任 武田圓籠（天台眞盛宗）

姉川慈濟（山梨県仏教会）

井上日宏

（東京ブデイストクラブ）

就任 川合歳明（天台眞盛宗）

齋藤紳悟（山梨県仏教会）

小峰立丸

（東京ブデイストクラブ）

理事会議案第二号

日韓仏教交流協議会の本会への加盟について承認を求める件

日韓仏教交流協議会より所定の書類を添えて加盟申請があり、審議の結果、全会一致で承認された。日韓仏教交流協議会の西郊良光理

事長より御礼の挨拶があり、併せて、五月二十八日に韓国仏教会が

来日した際に、日韓仏教交流協議会に託された救済基金一千万円が目録が、有田理事長に手渡された。関連事項として、臨済宗天龍寺派の本会への再加盟について承認

を求める件が議長より上程された。

臨済宗天龍寺派より所定の書類を添えて再加盟申請があり、審議の結果、臨済宗天龍寺派の本会への再加盟は、全会一致で承認された。

評議員会協議事項第一号

平成二十二年度事業報告について

意見を求める件

評議員会協議事項第二号

平成二十二年度収支決算について

意見を求める件

関連事項のため一括上程。事務局総局の説明の後、中江慈光監事（融通念仏宗）より、監査報告が行われた。審議の結果、平成二十二年度事業報告及び平成二十二年度収支決算は、賛成多数で賛同を得た。

理事会議案第三号

平成二十二年度事業報告について

承認を求める件

理事会議案第四号

平成二十二年度収支決算について

承認を求める件

評議員会での賛同を受け、理事会において審議され、平成二十二年度事業報告及び平成二十二年度収支決算は、賛成多数で承認された。

理事会協議事項第一号から第三号までと、評議員会協議事項第三号から第五号までは共通事項のため、有田理事長が進行を行なうことが提案され、理事会、評議員会ともに了承された。

理事会協議事項第一号

評議員会協議事項第三号

本財団の公益財団法人への移行について

事務局より、本財団の公益財団法人への移行の進捗状況について説明があった。その中、去る三月二十五日に内閣府公益認定等委員会に電子申請を行い、五月二十三日に同委員会事務局担当者より、申請内容についての指導があった件につき、定款条項の変更が求められており、その為には理事会・評議員会の承認が必要とされる旨の説明があった。上記の説明を受

け、議長より公益財団法人全日本仏教会定款変更案についての承認を求める議案が上程され、特に異議はなく協議に移り、審議の結果、公益財団法人全日本仏教会定款変更案は賛成多数で承認された。

理事会協議事項第二号

評議員会協議事項第四号

東日本大震災の被災現況と対応について

事務局より、東日本大震災における本会の取り組み、本会救済基金の現況と基金の拠出についての説明、支援活動団体への支援金拠出の経緯説明、支援活動団体に関する情報提供の要請が行われた。併せて、支援金の申請が行われていない団体に対し、申請を促していただきたい旨の協力要請も行われた。

また、加盟団体の被災状況を説明するとともに、関連して文化庁文化部宗務課の井上示恩宗教法人室長より指定寄附金の制度について説明がおこなわれ、同宗務課の富田文雄調査係長より補足説明が行われた。

報告事項

報告事項は理事会、評議員会共通事項のため、一括して報告が行

われた。

各部報告

◇奈良総務部長より、文部科学大臣政務官より通達があった夏期の電力需要対策についての説明があった。

◇垣内財務部長より、大蔵経テキストデータベース事業支援に係る支援金納入の要請があった。

◇加久保社会人権部長より、二点説明があった。

一、シンポジウム「葬儀は誰の為に行うのか?」②「お弔い」とは」開催の案内

二、東日本大震災被災者への腕輪念珠寄贈について(関連十七頁)

◇入西国際部長より、第二十六回世界仏教徒会議韓国大会・第七回世界仏教青年会議・第九回世界仏教大会会議の開催についての説明があった。

◇西野広報文化部次長より、二点説明があった。

一、本会ホームページについて
二、本会メールニュースについて
以上をもって全ての審議が終了し、午後四時、議長が閉会を宣し、戸松事務総長の謝辞をもって散会となった。

「原子力発電所事故について」の理事長談話をプレスリリース

本会は「原子力発電所事故について」の理事長談話を、六月十日付けでホームページに公開及び報道各社にプレスリリースを致しました。

原子力発電所事故について

東日本大震災によって被災されましたすべての皆さまに衷心よりお見舞いを申しあげます。お亡くなりになりましたの方々のご冥福をお祈りいたしますとともにご遺族と関係者の方々にお悔やみを申しあげます。

さて、この度の大地震により東京電力福島第一原子力発電所が被災し、今までの安全神話が脆くも崩れ、近隣住民をはじめ、放射線値の高い地域の方々は避難を強いられています。また乳幼児や児童をもつ多くのご家族が放射能の子もたちへの健康被害を心配し、大きな不安の中、生活を送っています。現在、福島第一原子力発電所を中心に半径二十キロメートルの地域は、立ち入りを禁止され、さらに避難準備区域や計画的避難区域が国によって設定されています。しかし、福島第一原子力発電所の炉心事故は、収束までに長時間を要する状況にあって、未だ放射性物質が広範囲の地域・海洋に飛散しております。風の向きと地形などによって違いがあるものの環境や人体に及ぼす影響は、どのような結果を及ぼすのか専門家にとっても予測ができません。日本だけでなく、地球規模で拡散する放射性物質は、自然環境と食を通じて人体に影響を及ぼす可能性は否めません。特に乳幼児さらには将来生まれてくる子どもたちへの影響を懸念いたします。

被災地の人々をはじめ、すべての国民が安心して暮らすことができずよう、政府および東京電力、関係各位におかれては、被害者の方々への支援とともに子どもを持つご家族の不安を和らげるべく対策を講じ、一日も早く福島第一原子力発電所の炉心事故を収束していただきたく、切望いたします。

平成二十三年六月十日

財団法人 全日本仏教会

理事長 有田 惠宗

加盟団体をゆく

《第四十三回》法相宗

今回は法相宗大本山興福寺をお訪ねし、多川俊映法相宗管長にお話を伺いました。

興福寺は昨年一大ブームを巻き起こした阿修羅像をはじめ数々の宝物も魅力の一つであり、iPhone用アプリの配信等の先進的な取り組みも行っています。

— 貴宗派で継続的に、もしくは最近力を入れてしている活動に関してお聞かせ下さい —

法相宗は興福寺、薬師寺が大本山として統括をしておりますが、興福寺では二〇一〇年に創建一三〇〇年を迎えました。この前後二〇年に渡り様々な記念事業を行っております。

一つは興福寺境内の整備です。二〇年前にあたる平成三年に、各界の学識経験者にお集まり頂き、興福寺境内整備委員会を設置しま



多川俊映法相宗管長
大本山興福寺貫首

した。史跡興福寺旧境内や名勝奈良公園のあるべき姿などを国、奈良県、奈良市のご指導を仰ぎながら様々な角度から検討し、十八世紀に焼失した中金堂の再建を現在進めております。二〇一八年の落慶を目指しております。

興福寺は皆様もご承知の通り、奈良公園と隣接しており全方向から境内に入ることができ、正確な参拝者数も分からない状況です。

これは明治期に寺社の境内を公園として利用するため開放せよ、との指示を当時国家から頂いたため現在の形となっております。

多くの方にお参り頂けるのは非常に有難い反面、やはり寺院は宗教的な空間であり、心を静める場でもあります。現在の興福寺の全方位に開放された形ではなかなかそうした空間は作りにくく、中金堂再建後は、中金堂をそうした宗教的空間の中心として据えていきたい、と思っております。

また、法相宗の教義の中心をなすものと言えば唯識でございますが、唯識に関する入門書等は数が少なく、なかなか一般の方になじみを持って頂けないという問題がございます。

そうした状況を改善すべく、創建一三〇〇年記念事業として唯識に関する入門書の整備を行いました。唯識に関する入門書や、初級〜中級の本を三〇冊程度出版するという目標で各方面に働きかけ、概ね目標を達してきた状態です。また、唯識に強い辞典も発行致し

ました。（『唯識 仏教辞典』（横山紘一著 春秋社）

今後も東京と興福寺で行っている「興福寺佛教文化講座」等の取り組みをはじめ、唯識の教えを理解して頂くための取り組みを進めてまいります。

— 東日本大震災への支援について —

興福寺・薬師寺境内に義援金箱を設置、奈良隣山会を通じて日本赤十字等の支援団体に寄託を行っております。

また、現地での支援に関しては、法相宗の僧侶、徳一菩薩ゆかりの寺院である恵日寺が福島県耶麻郡磐梯町にあり、同町とは、その史跡整備等を通じて親交がございます。同町では震災後、被災者の受け入れ等をしておられますのでご協力をさせて頂きました。

また、仙台では年四回「文化のつどい」と称し文化講座を行っております。そうしたところで、「自然の中の人間」ということを改めて参加者の皆様と考えていきたい

と思います。

―現代社会に対する思いをお聞かせ下さい―

何を基準に生きていったらよいか、という事がみんなわからなくなってしまうている、どこか心に不安を抱えてしまっている、そういった事が現代社会に様々な問題を引き起こしてしまっているのではないか、と思います。

一つには、あまりにも「死」を忘れてしまっているのではないかと、思います。

平均寿命という数字がTV・新聞等でたびたび出てきますが、平均寿命はあくまでも寿命の平均を機械的に出しただけの数字です。それなのに漠然と「自分は平均寿命までは生きられる」事が当然で、平均寿命より先に寿命を迎えてしまった人がいたら「どうしてこんな悲劇が」と怒り出す。これは生への感謝を忘れた、人間の傲慢ではないでしょうか。

有史以来、誰一人として寿命を迎えて死ななかつた人はいません。

釈尊や歴代の祖師でもそうです。

なのに、現代の風潮は死を語る事はあたかも悪いことのようになってしまうています。

生きている限り必ず死ぬし、悩みも不安も沢山襲ってくる。そうした部分に対して目を背けず向き合う事や、そうした問題をきちんと取り上げる事が今後ますます重要になると思います。

―仏教界に対する思いをお聞かせ下さい―

仏教界に限った事ではありませんが、「気持ちさえあれば形も作法もどうでもいい」という考え方が蔓延しすぎてしまっているのではないかと、感じています。

興福寺は昨年「阿修羅展」を開催し、一大仏像ブームとして大反響を頂きました。一方で仏教者的な発想としては、「形に重きを置かない」という考え方がございます。仏像なんかいらぬ、形の奥に求めるもの(信仰)があるという話はたびたび出てまいりますし、私自身もメディア等で「寺≠仏像

という取り上げ方をされる事には違和感を感じます。

ですが、気持ちを静める為には荘厳は必要不可欠です。人間のころは、いつも流動していて散心にさいなまれていきます。仏像の造形や寺院の存在は、心を静かに係留してくれるひとつの道具立てであり、必要不可欠なものだと思います。

人々の心に安らぎ、心の係留をもたらすため「気持ちさえあれば」と必要なもので疎かにしてしまっていないかという問いかけを我々仏教者は行っていく使命があると思います。

―全日本仏教会に対するご要望やご意見をお聞かせ下さい―

東日本大震災への支援をはじめとして、様々な社会からの要請に仏教界がより良い回答を出していくためにも、全日本仏教会の担う役割は今後ますます重要になります。

宗派・寺院の住職等が、様々な社会問題や課題に直面した際に、

「全日本仏教会ではこの問題に対してどう考えているのだろうか？」という関心をパッと思う位に、存在感を増して頂けると良いのではないかと思います。

法相宗大本山興福寺ホームページ
<http://www.kohfukujii.com/>
 法相宗大本山薬師寺ホームページ
<http://www.nara-yakushiji.com/>



大本山薬師寺 東院堂
 (写真提供：奈良市観光協会)
 撮影：矢野建彦



大本山興福寺 東金堂と五重塔
 (写真提供：奈良市観光協会)

指定寄附金制度の運用説明会開催

六月二十八日午後二時より、東京都港区芝公園の明照会館四階第一会議室にて、文化庁文化部長宗務課・井上示恩宗教法入室長を迎えて開催された。

説明会は、最初に井上室長が資料に基づいて約一時間説明を行ない、その後質疑応答が行われた。

井上室長からは特に、包括法人における被包括法人に対する十分な支援の願いがなされていた。

説明の要旨は以下のとおり。

【指定寄附】

指定寄附とは、公益法人等が行う広く一般に募集する寄附金。地域を限定したり、特定の檀家のみを対象としたりすると指定寄附にはならないので注意が必要。

【自主的な募金】

自主的な募金であるので、割り当てなど半強制的に行われないうこと。

【税制優遇】

指定寄附に指定されると、寄附者が税制の優遇を受けられる

法人の場合…全額損金算入扱い
個人の場合…年間所得金額の四十%又は寄附金額のいずれか少ない方の金額から二千円を控除した金額。

この度の東日本大震災の寄附金については、上記の控除可能限度

額が八十%まで拡大される。一般の寄附金に比べて募金がしやすくなる。

【募金開始の申請期限】

平成二十五年十二月三十一日

【寄附金募集の期間】

所轄庁が募集開始について確認をした翌日から三年以内

【今回の措置について】

東日本大震災による被害が甚大だったため、特例措置として、被災した宗教法人の建物等の復旧のために行われる募金を指定寄附の対象として、税制優遇を講じることとなった。

*通常宗教法人での指定寄附は国宝又は重要文化財のみ。今回も国宝又は重要文化財は指定寄附の対象だが、文化財についての問い合わせは文化財部まで。

【対象施設】

宗教法人の所有していた建物及び構築物並びにこれらと一体的に使用される土地その他の固定資産で

- ① 宗教法人が専ら自己の宗教活動又は公益事業の用に供していた建物等であること
- ② 東日本大震災により、建物等が滅失又は損壊し、補修なしには建物等として本来の機能を果たさない、ないしはその利用の継

続が困難であること
右の要件を全て満たしていると認められたもの。

収益事業と収益事業以外の用に併用していた建物等については、収益事業の用に供していた部分を除いたものが対象となる。

【建物等の具体例】

- *阪神淡路大震災時におけるもの
- ① 建物…本堂、客殿、庫裏、観音堂、薬師堂、僧堂、檀信徒会館、仏具庫、内陣、堂内荘厳、納骨堂、位牌堂、書院、教職舎、持仏堂、稲荷堂、土蔵、経蔵等
- ② その附属設備…暖房設備、照明設備、通風設備、昇降機その他建物に付属する設備
- ③ 構築物…鐘楼、山門、参道、土塀、太鼓楼、灯籠、地蔵、祠、石碑など
- ④ 土地…原状回復事業の一環として要する、敷地の盛り土などの整地・土壌改良等は対象となる。

- また、震災前の所有地で原状回復が困難な場合、移転先の土地取得費用も認められる。原状回復に必要な土地で、引き続き宗教活動又は公益事業を行なうことができる場所が要件。但し、震災以前にはなかった建物等を移転先で新規に建てる費用などは認められない。
- ⑤ その他固定資産…随神像、仏具、仏像、信者の送迎用マイクローバ

ス等。当該固定資産が実在している（又は実在していた）こと、震災により被災したことが証明できることが必要。

【募集の対象となる復旧費用】

原状回復するために必要な事業費が募集対象限度額となる。実際に必要な原状回復の費用から自己資金、借入金、補助金を差し引いたものが募集対象限度額。

【指定寄附の募金の仕方】

次の二通りの方法がある

- ① 被包括宗教法人が単独で行う
- ② 包括宗教法人が被包括宗教法人を取りまとめて募金を行う

①②の併用は不可。包括宗教法人とよく相談の上で選択のこと。

今回の指定寄附金における最大の特徴は②の方法。これにより被災寺院の負担軽減と、包括団体の知名度を活かした全国的な募金活動を行なうことができる。

【質疑応答より】

●今までに集まった義捐金等は、指定寄附金にはならない（所轄庁の確認を受けた日の翌日から募集が可能になる）。

なお、今後も希望に応じて随時説明及び具体的な事務打合せを行なうとのことなので、詳しくは文化庁文化部長宗務課までお問い合わせ下さい。

電話 ○三―五二五三―四一一一
内線二八五四または三〇一七

第六十九回 東京お盆まつり開催

日本仏教鑽仰会主催の「第六十九回東京お盆まつり」が七月一日十二時三十分から銀座プロッサムホール中央会館で開催され、本会より戸松義晴事務総長が参列した。「東京お盆まつり」は一九四一年七月十六日に当時の日中戦争で亡くなられた人たちの追悼の為に開始され、二〇一一年で六十九回目になる。特に今年は東日本大震災で亡くなられた方々の新盆にあたり、会場には約三百五十名が来場した。

第一部では式典として加藤円住時宗法主を導師として、時宗総本山清浄光寺（遊行寺）僧侶による法要が厳修された。また幼稚園児による献花とお盆の歌も披露された。

続いて中山静麿日本仏教鑽仰会理事長より東日本大震災で亡くなられた方々に、少しでも御心を鎮ませて頂きたいとの旨の挨拶が行われた。戸松義晴本会事務総長、新倉典生東京都仏教連合会事務局

長も挨拶を行い、お盆の意義を来場者に訴えた。

第二部は時宗宗学林の長澤昌幸教授が「遊行の旅人 一遍上人」と題して記念法話を行った。「大震災を経て一遍上人をひもとくと新たな発見があった」とし、「一遍上人遊行の旅は、念仏布教のためだけではなく各地の供養を行っていたのでは」と語った。

第三部は日本舞踊と津軽三味線、民謡が来場者に披露された。



加藤円住時宗法主を導師として法要が厳修された

第三十三回 埼玉県佛教徒大会開催

三月十一日に発生した東日本大震災により延期となっていた第三十三回埼玉県佛教徒大会が、六月三十日にさいたま市民会館いわつきに於いて開催され、本会より戸松義晴事務総長が参加した。大会テーマは「いのちをみつめる」サブテーマ「生きてるっていいな」。入場無料にて約四百五十名が参加した。

午後二時に開会し、東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられ、萩野映明会長を導師に記念法楽が厳修された。会長挨拶に続き、戸松義晴本会事務総長が祝辞を述べた。

開会行事後の記念講演は、高幡山明王院金剛寺（高幡不動尊）第三十三世貫主の川澄祐勝師を講師に、『命のかぎり』の演題にて行われた。「物事を前向きに考え、いのちのかぎり、仕事を楽しみ、少しでも人のためになるようなものを考え方をする。これが人生を楽しく過ごす秘訣です」と語られた。

記念講演に続き、アトラクシオンとしてインド舞踊が披露された。

出演は「プラーナ」インド古典舞踊研究会を主宰する里見まこ先生が率いる七人。動の中に静、静の中に動が存在するインド舞踊は日本の伝統芸能に共通するものがあるとのこと。迫力のある内容で、参加者からも感嘆の声が上がっていた。

閉会行事では、次期開催担当の入間東部支部ならびに所沢支部へ仏旗・法輪旗のバトンタッチが行われた。最後に上村正剛実行委員長の御礼の挨拶で閉会となった。



萩野映明埼玉県佛教会会長を導師に記念法楽が厳修された

各団体の被災地支援にこころ

東日本大震災支援として現地では加盟団体・ご寺院等が様々な支援活動や法要等を行っており、以下にその活動の一部を掲載させて頂きます。詳細につきましては全日本仏教会ホームページをご覧下さい。

<http://www.jbfne.jp>

- **念法真教** (六月二十三日現在)
大震災による津波で被災され、沢山の方々がお亡くなりや行方不明になっている自治体首長等を訪問し、全国の支院・信徒から寄せられた義援金等を災害復興寄付金として謹呈するとともに、被災地での慰霊巡拝を目的に四団を構成して実施
訪問地：青森県、岩手県、宮城県北部から中部、宮城県仙台市から南部、福島県下の自治体
- **和宗** (六月十八日現在)
六月十八日午前十時より五智光院・四天王寺にて百箇日慰霊・復興祈願法要を厳修。当日集まった百八十五万円を日本赤十字社を通じて寄付を行った
- **高野山真言宗** (六月十八日現在)
炊き出しや被災地支援活動を継続的に行っている。六月十日より高野山足湯隊が南三陸町にて活動。六月十三日より北海道宗務支所・長野宗務支所が釜石にて活動。六月十八日には各所にて百箇日法要が厳修された
- **真言宗中山寺派** (六月十八日現在)
六月十八日午前十時より本堂において、「東日本大震災百ヶ日追悼法要」が執行された
- **真言三宝宗** (六月十八日現在)
東日本大震災物故者 百ヶ日追悼法要を六月十八日午後二時より本堂にて執行された
- **浄土宗** (六月十八日現在)
六月十八日、総本山知恩院御影堂にて東日本大震災物故者百ヶ日追悼念仏会が厳修された
- **日蓮宗** (六月十八日現在)
東日本大震災殉難者諸霊位百ヶ日追善法要が日蓮宗本山孝勝寺(仙台)にて六月十八日に厳修された
- **真言宗御室派** (六月十六日現在)
六月十六日午後二時四十六分から仁和寺・金堂において、東日本大震災殉難者追悼法要を厳修。真言宗各派の山主はじめ重役が集う真言宗あげての追悼法要が行われた
- **真言宗醍醐派** (六月十六日現在)
六月十六日(木)午後二時より、下伽藍 金堂に於いて法要及び「鎮魂奉納演奏」として小馬崎達也氏による桐 *Ballet*・久乗編鐘の演奏会が行われた
- **真宗大谷派** (六月十四日現在)
真宗大谷派大谷暢顯門首が、六月八日から十日にかけて、被災された仙台教区、東京教区の寺院を訪問した
五月三十一日、宮城県女川町にてボランティア活動(炊き出し)を行った
- **臨済宗妙心寺派** (六月十三日現在)
河野太通管長が六月十三日より三日間被災地を訪問し、各所で百ヶ日法要を厳修された
- **曹洞宗** (六月九日現在)
宮城県・岩手県・福島県の県庁の他、九県四十四市町村に義援金を寄託
「風評被害等に関するメッセージ」ポスターを作成。曹洞宗HPよりダウンロード可能
また、福島県内の寺院へ放射線測定器の貸し出し、被害が甚大な寺院へのプレハブ(ユニットハウス)の設置を開始した
- **長野県仏教会** (五月二十七日現在)
五月九日(二十七日まで)牡鹿半島、女川町を中心にガレキ撤去作業(重機六台持参)や炊き出し活動を行った
- **浄土真宗本願寺派** (五月二十三日現在)
震災発生後より順次、飲料水や食料品等の救援物資搬送、炊き出しを行っている
たすけあい運動募金「東日本大震災義援金」において、第二次義援金として岩手県・宮城県・福島県に対し、各県一億円、計三億円の交付を行った
- **孝道教団** (五月二十二日現在)
東日本大震災募金支援活動とボランティア派遣を継続的に行っている

東日本大震災に関する 救援基金募集のお知らせ

本会では国内外における災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。今回の大災害に対しても、三月十六日に一千万円を日本赤十字社に寄託しました。

今後、現地の被災者に最も役立つ方法を地域仏教会、仏教系NGO団体等と協力しつつ、被災者支援を継続して行っていきます。

つきましては今回の大災害に対し、加盟団体、各寺院、檀信徒・門信徒のみならず、そして宗派・宗教を超えて、みなさまの温かい浄財をお寄せ頂ければ幸いです。

尚、救援金は左記口座までお寄せ頂きますようお願い申しあげます。

※指定寄付の場合は「東日本大震災」と振替票にご記入ください。

合掌

記

郵便振替口座

口座番号

00110-9-704834

口座名義 全日本仏教会救援基金

「救援基金」寄付者一覧

(五月十日～七月七日)

滋賀県・水口地区佛教会

宗教法制研究会事務所

(有)新宿アカウンティングオフィス

長谷川法律事務所

中央寺 南澤道人

高野山真言宗 龍泉寺

仲林尚

浄覚寺 小川希迪

中原区仏教会 (川崎市)

順正寺

(財)国際仏教興隆協会

無我の会

(社)日本仏教保育協会

滋賀県仏教会

真言宗大覚寺派

神奈川県横浜市鶴見区仏教婦人会

浄土宗平和協会

羅府仏教各宗連合会

金剛寺 志田洋遠

瑠璃山 醫光寺

千葉市仏教会

東京・芝仏教会

浄土真宗本願寺派 実相寺

融通念佛宗

長崎市佛教連合会

静岡県仏教会

(寄付仏教会一覧は二十頁に掲載)

武相観音札所連合会会長 小路貞秀

Mrs. Ayako Akahoshi

宗福田寺徳雲福祉会

(中外日報社を通じて)

浄業会

草津仏教同心会

志津仏教同心会

高野山真言宗

江袋山地蔵院 能泉寺 中村幸璋

東京都仏教連合会

(以下の仏教会より寄託)

・北区仏教会

・足立区仏教会

・烏山仏教会

・興林寺

・大崎仏教会

・淀橋仏教会

・神田寺

・専福寺

・杉並仏教会

・宗建寺

・勝國寺

・普門院

・町田市仏教会

・善福寺

・観乗寺

・品川仏教会

・新照寺

・花蔵院

・教龍寺

・多摩市仏教会

・日野市仏教会

・世田谷区 大空閣寺

・葛飾区 長伝寺

・港区 覚林寺

・新宿区 圓照寺

・八王子市 宗格院

・八王子市 仏教会

・八王子市 金剛院

・新宿区 観音寺

・麻布仏教会

・千代田区 神田寺

・江戸川区 大雲寺

・品川区 丸山寺

・滝野川仏教会

・北区 興楽寺

・北区 金剛寺

・大森仏教会

・台東区 長昌寺

・練馬区 阿弥陀寺

・北多摩東部仏教会

・本郷仏教会

日韓仏教交流協議会

株式会社 ビーエス観光

(順不同・敬称略)

合計 四千四百七十八万九千七百九十六円

ご支援誠にありがとうございます。

暑中お見舞い申し上げます

曹洞宗宗務庁

管 長 江川 辰三
 宗務総長 佐々木 孝一
 参 議 羽仁 素道
 参 議 岩田 啓靖
 教学部長 河村 松雄
 伝道部長 齋藤 裕道
 人事部長 中野 重哉
 出版部長 石川 順之
 教化部長 釜田 隆文
 総務部長 坂野 浩道
 財政部長 神野 哲州

東京都港区芝二丁目一丁目
 〒105-8544 〇三(三四五四)五四一一
<http://www.sotozen-net.or.jp/>

浄土真宗本願寺派

総 長 橘 正信
 総 務 竹田 空尊
 総 務 後藤 壽邦
 総 務 光岡 理學
 総 務 中戸 康雄
 総 務 足利 善彰
 本廟局長 藤野 堯文
 宗門長期振興計画推進対策室長 武野 公昭
 親鸞入道七百五十四大遠忌実行委員会事務局長 仲尾 孝誠
 総局公室長 中尾 史峰
 会 行 事 今小路 覚真
 宗務企画室長 北浦 思朗
 教学伝道研究センター所長 佐々木 恵精
 本願寺宗務本部副センター所長 山内 教嶺

京都市下京区堀川通花屋町下ル
 〒600-8501 〇七五(三七)五一八一
 FAX 〇七五(三五)一一二二一一

真宗大谷派

宗務総長 安原 晃
 参 務 竹田 惠示
 参 務 杉浦 義孝
 参 務 黒川 紘紀
 参 務 林 治
 参 務 江尻 静哉

参 務 推進本部 長 青少幼年 務 センター 所長

京都市下京区烏丸通七条上ル 常葉町七五四
 〒600-8505 〇七五(三七)九一八一代表
<http://www.higashihongangun.or.jp/>

浄土宗

浄土門主 伊藤 唯真
 宗務総長 里見 法雄
 総務局長 安井 昭雄
 教学局長 桂 大瀛
 財務局長 行正 明弘
 社会国際局長 里見 嘉嗣
 社会福祉推進事務局局長 柴村 堯海
 文化局長 柴村 堯海
 総長公室長 小泉 顕雄
 人権同和室長 伊藤 喬淳
 宗祖法皇八百年大遠忌事務局長 光成 範道
 職員一同

浄土宗宗務庁
 京都市東山区林下町四〇〇一八
 〒605-0062 〇七五(五二)二二〇〇〇代
 FAX 〇七五(五三)五一〇〇五
 東京都港区芝公園四一七一四
 〒105-0011 〇三(三四三六)三三五一代
 FAX 〇三(三四三四)〇七四四
<http://www.jobod.or.jp/>

日蓮宗

管 長 内野 日絵
 宗務総長 渡邊 照敏
 伝道局長 関谷 泰教
 総務局長 駒野 教源
 伝道部長 古河 良皓
 教務部長 塩崎 望巳
 総務部長 梶山 寛潮
 財務部長 米田 宣雄
 宗務総長 渡邊 義生
 現代宗教研究所長 三原 正資
 参 与 渡邊 一之
 参 与 吉田 海心
 日蓮宗新聞社 社長 草ヶ谷 秀人

東京都大田区池上一丁目三三一一五
 〒146-8544 〇三(三七五)七一八一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

暑中お見舞い申し上げます

総本山金剛峯寺
高野山真言宗

座長 主 松 長 有 慶
 執行総長 庄 野 光 昭
 執行総長 永 島 龍 弘
 執行総長 村 上 保 壽
 執行総長 仲 下 瑞 法
 執行総長 森 寛 勝
 執行総長 岡 部 兼 海
 執行総長 倉 岡 弘 叔
 信徒局長 深 真 樹
 社会人局長 萩 山 祥 光
 教学部次長 近 藤 本 淳
 開創局長 加 古 原 大 岳
 奥之院維那 伽 藍 維 那 次 宥 行
 東京別院主監 四 之 宮 弘 孝
 東京宗務出張所長 柏 田 良 辯
 堀川別院主監
 京都宗務出張所長

和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
 〒648-0294 〇七三六(五六)二〇一一
 FAX 〇七三六(五六)四六四〇
<http://www.koyasan.or.jp/>

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管 長 河 野 太 通
 宗務総長 松 井 宗 益
 総務部長 松 山 英 照
 教学部長 栗 原 正 雄
 財務部長 松 久 宗 心
 本部園長 林 学 道
 法務部長 土 井 克 彦
 花園園長 (兼) 松 山 英 照

京都市右京区花園妙心寺町六四
 〒616-8035 〇七五(四六三)三二二一
<http://myoshinj.or.jp/>

天台宗務庁

天台座主 半 田 孝 淳
 宗務総長 阿 純 孝
 参務部長 杜 多 道 雄
 参人部長 山 田 亮 清
 参務部長 阿 部 昌 宏
 参学部長 齊 藤 圓 眞
 参社会部長 村 上 圓 竜
 参一隅を照らす
 運動総本部長 福 惠 善 高

大津市坂本四丁目六番二号
 〒520-0113 〇七七(五七九)〇〇二二
 FAX 〇七七(五七九)二五二六
<http://www.tenda.or.jp/>

真言宗智山派宗務庁
総本山智積院法務所

化主長 寺 田 信 秀
 宗務総長 岡 部 快 圓
 寺務総長 岡 部 快 圓
 総務部長 小 宮 一 雄
 教学部長 細 川 大 憲
 教化部長 岡 野 忠 正
 法務部長 江 連 俊 裕
 財務部長 芙 蓉 良 英
 宗務出張所長 高 麗 行 真
 別院執事

京都市東山区東大路七条下ル
 〒605-0951 〇七五(五四一)五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>

真言宗豊山派宗務所

管 長 小 野 塚 幾 澄
 宗務総長 川 田 聖 成
 総務部長 高 橋 秀 三
 財務部長 五十嵐 賢 二
 教務部長 粕 谷 利 通
 教化部長 小 倉 秀 清
 教化センター長 大 越 恒 範
 真言宗豊山派総合研究院 院長 川 崎 信 定

東京都文京区大塚五十四〇一八
 〒112-0012 〇三(三九四五)〇六三九
 FAX 〇三(三九四五)〇七〇二
<http://www.buzan.or.jp/>

暑中お見舞い申し上げます

総本山仁和寺
真言宗御室派

管門
長跡南揚道

執行
宗務総長
瀬川大秀

総務
総務部長
杉本泰俊

執
教学部長
藤橋千秋

財
務部長
大西智城

京都市右京区御室大内三三
〒616 8092 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
http://www.ninai.jp

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管
主長仲田順和

宗務
執行総長
壁瀬宥雅

総務
執行部長
仲田順英

執
教学部長
田中祐考

財
務部長
浦郷宜右

伝
法学院長
田村照晃

京都市伏見区醍醐東大路町二二
〒601-1325 〇七五(五七一)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七一)〇一〇一
http://www.daigoji.or.jp
携帯電話でも御覧頂けます。



天台真盛宗宗務所
総本山西教寺

管
長西村問紹

宗務
執行総長
川合歳明

庶
務部長
喚阿宏道

教
学部長
別所泰広

社
会部長
竹澤良全

財
務部長
森尾即榮

滋賀県大津市坂本五―三―一
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

法華宗陣門流

管
長石丸日然

宗務
総長
佐古弘文

総務
部長
門谷光瑞

教
学部長
布施義高

教
化部長
佐古大弦

財
務部長
金原孝宜

企
画部長
今井満良

法華宗宗務院
東京都豊島区巣鴨五―三―五―六
〒170-0002 〇三三(三九一)七二九〇
FAX 〇三三(三五七)〇〇二二一

大阪府佛教会

会
長井桁雄弘
(浄土宗 大圓寺)

副
会長森田俊朗
(和宗 四天王寺)

同
北村日照
(日蓮宗 櫛笥寺)

同
村山廣甫
(曹洞宗 東光院)

同
森快隆
(真言宗 葛井寺)

事
務局長二上寛弘
(真言宗 釋迦院)

事務局
大阪市港区築港一―十三―三
〒552-0021 〇六(六五七)五七一〇
釋迦院内

暑中お見舞い申し上げます

<p>神奈川県仏教会</p> <p>会 長 本間孝康</p> <p>副会長 和田大雅</p> <p>同 都築哲信</p> <p>同 木内雍明</p> <p>同 丸山邦雄</p> <p>事務局長 吉水智栄</p> <p>〒231-0859 横浜市中央区大平町九六 西有寺内 ○四五(六六一)〇一六六</p>	<p>社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>名誉会長 鷹司誓玉</p> <p>会 長 大谷貴代子</p> <p>副会長 稲山霊芳</p> <p>同 大賀美都子</p> <p>同 島田喜久子</p> <p>理事長 末廣久美</p> <p>事務局長 林 恵智子</p> <p>東京都渋谷区千駄ヶ谷 四一五―十一―二〇五 〒151-0051 〇三(五七七)〇六七七 FAX 〇三(五七七)〇六七七 http://jbwf.jp E-mail:info@jbwf.jp</p>	<p>財団法人 仏教伝道協会</p> <p>会 長 沼田智秀</p> <p>理事長 福山諦法</p> <p>理事 中西智海</p> <p>同 木村清孝</p> <p>同 桂 紹隆</p> <p>同 門脇邦彦</p> <p>監 事 中野東禅</p> <p>同 野村邦武</p> <p>〒108-0014 東京都港区芝四丁目三十一-四 電話 〇三(三四五五)五八五一 FAX 〇三(三七九八)二七五八 http://www.bdk.or.jp</p>	<p>本門佛立宗 本山宥清寺</p> <p>講 有 小山日誠</p> <p>宗務総長 佐藤日風</p> <p>本山宥清寺 〒602-8330 京都市上京区一条通七本松西入 滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一 TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一 本門佛立宗 宗務本庁 〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る 東堅町一〇番地 TEL 〇七五(四六二)一六六(代) FAX 〇七五(四六四)五九九 URL http://www.honmon- butsunyushu.or.jp/</p>
<p>眞言三宝宗 大本山清澄寺</p> <p>法管 主長 坂本光謙</p> <p>宗務長 岡田康秀</p> <p>執行長 有井良隨</p> <p>鉄斎美術館 森藤光宣</p> <p>宝塚市米谷字清シ一番地 〒665-0837 〇七九七(八六)六六四一 FAX 〇七九七(八六)六六六〇 http://www.kiyoshikojin.or.jp</p>	<p>頭本法華宗</p> <p>管 長 中村日玄</p> <p>宗務総長 藤崎広学</p> <p>管 長 鈴木貴晶</p> <p>前管長 田中眞瑞</p> <p>長 老 鈴木風永</p> <p>寺務長 野澤密孝</p> <p>奈良県生駒郡平群町信貴山 二二八〇―一 〒636-0923 〇七四五(七)二二七七</p>	<p>信貴山眞言宗 総本山朝護孫子寺</p> <p>管 長 鈴木貴晶</p> <p>前管長 田中眞瑞</p> <p>長 老 鈴木風永</p> <p>寺務長 野澤密孝</p> <p>奈良県生駒郡平群町信貴山 二二八〇―一 〒636-0923 〇七四五(七)二二七七</p>	<p>眞言三宝宗 大本山清澄寺</p> <p>法管 主長 坂本光謙</p> <p>宗務長 岡田康秀</p> <p>執行長 有井良隨</p> <p>鉄斎美術館 森藤光宣</p> <p>宝塚市米谷字清シ一番地 〒665-0837 〇七九七(八六)六六四一 FAX 〇七九七(八六)六六六〇 http://www.kiyoshikojin.or.jp</p>

暑中お見舞い申し上げます

<p>金峯山修験本宗 総本山金峯山寺</p> <p>管 長 五條 覺 堯</p> <p>宗務総長 執行 長 田 中 利 典</p> <p>奈良県吉野郡吉野町吉野山二四九八 〒639-3115 〇七四六(三三)八三七一 FAX 〇七四六(三三)四五六三 http://www.kinpusen.jp/</p>	<p>東京都仏教連合会</p> <p>会 長 丹 羽 慈 祥</p> <p>理 事 長 山 田 一 眞</p> <p>事務局 長 新 倉 典 生</p> <p>東京都足立区梅田一―二十六―十 善立寺内 〒123-0851 〇三(三八八六)一三六七 FAX 〇三(三八八六)八二五二</p>	
<p>福島県仏教会</p> <p>各方面からのご支援・ご協力 に厚く御礼申し上げます。</p> <p>会 長 三 村 真 城</p> <p>専務理事 加 賀 正 孝</p> <p>事務局 長 伊 藤 寂 俊</p> <p>福島県郡山市西田町木村字 寺ノ前一一九 建福寺内 〒963-0914 〇二四(九七二)二九一一 FAX 〇二四(九七二)二二四三</p>	<p>愛知県仏教会</p> <p>会 長 吉 田 教 行</p> <p>副 会 長 田 畑 修 身</p> <p>同 伊 藤 正 導</p> <p>同 岩 木 涼 山</p> <p>名古屋市長天白区植田一―三二―一 全久寺内 〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇 FAX 〇五二(八九三)九二九〇</p>	
<p>青森県仏教会</p> <p>会 長 佐 藤 彰 瑞</p> <p>事務局 長 長 谷 川 亮 宏</p> <p>会 計 田 中 秀 次</p> <p>青森県つがる市柏桑野木田福井一三一― 浄円寺内 〒038-3104 〇一七三(二五)二〇二二</p>	<p>財団法人 国際仏教興隆協会</p> <p>名誉会長 塩 川 正 十 郎</p> <p>印度王 山 半 田 孝 淳</p> <p>日本寺竺王 安 田 暎 胤</p> <p>理 事 長 正 本 乘 光</p> <p>事務総長 役 員 一 同</p> <p>東京都目黒区中目黒五―二四―五三 〒153-0061 〇三(三七二)七六〇八 FAX 〇三(三七二)七六七三 http://homepage2.nifty.com/nip-pouji/ E-mail:hbba@nifty.com</p>	
<p>孝道教団</p> <p>統 理 岡 野 正 貫</p> <p>横浜市神奈川区鳥越三八 〒221-0064 〇四五(四三二)二二〇一</p>	<p>大本山須磨寺</p> <p>貫 主 小 池 弘 三</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町四―六―八 〒654-0071 〇七八(七三二)〇四一六</p>	<p>宗教法人 念法眞教</p> <p>総 本 山 金 剛 寺</p> <p>大阪市鶴見区緑三―四―二二 〒538-0054 〇六(六九二)二二〇一 http://www.nenpoushinkyou.jp/</p>
<p>聖観音宗 浅草寺</p> <p>貫 首 清 水 谷 孝 尚</p> <p>東京都台東区浅草二―一三―一 〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一 FAX 〇三(三八四五)六九三三</p>	<p>臨濟宗南禅寺派</p> <p>宗務総長 後 藤 憲 雄</p> <p>京都市左京区南禅寺福地町八六 〒606-8435 〇七五(七七二)〇三六五 FAX 〇七五(七七二)六九八九 http://www.nanzen.net E-mail:info@nanzen.net</p>	<p>真言宗大覚寺派宗務庁 大本山大覚寺</p> <p>管門 長 跡 下 泉 恵 尚</p> <p>京都市右京区嵯峨大沢町四 〒616-8411 〇七五(八七二)〇〇七一 FAX 〇七五(八七二)〇〇五五</p>

暑中お見舞い申し上げます

<p>北海道仏教会連盟</p> <p>会 長 寺 井 紹 道</p> <p>札幌市中央区北三条西十九丁目二一 浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内 〒060-0003 〇一一(六一)九六二三</p>	<p>茨城県仏教会</p> <p>会 長 寺 門 俊 文</p> <p>茨城県笠間市押辺二五二五―四 〒319-0205 〇二九九(二七)八八九〇</p>	<p>滋賀県仏教会</p> <p>会 長 西 村 岡 紹</p> <p>滋賀県大津市坂本五―一二―一 総本山山西教寺内 滋賀県仏教会事務局 〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三 F A X 〇七七(五七八)三四一八</p>
<p>山梨県仏教会</p> <p>山梨県甲府市下今井町七〇三 常光寺内 〒400-0842 〇五五(二六九)七六七六 F A X 〇五五(二六九)七六六六</p>	<p>臨濟宗円覚寺派</p> <p>大本山 円 覚 寺</p> <p>鎌倉市山ノ内四〇九 〒247-8503 〇四六七(二二)〇四七八 http://www.engakuji.or.jp/</p>	<p>真言宗中山寺派</p> <p>大本山 中 山 寺</p> <p>宝塚市中山寺二丁目十一―一 〒605-8588 〇七七(八七七)〇〇二四 F A X 〇七七(八七七)九八七七 http://www.nakayamadera.or.jp</p>
<p>時宗宗務所</p> <p>宗 務 長 高 木 貞 歡</p> <p>神奈川県藤沢市西富一―八―一 遊行寺内 〒251-0001 〇四六六(二三)七二七六</p>	<p>東寺真言宗</p> <p>宗務総長 橋 本 尚 信</p> <p>京都市南区九条町一 東寺真言宗宗務所 〒601-8473 〇七五(六七)三七一七 F A X 〇七五(六六)六八五六</p>	<p>岡山県佛教会</p> <p>会 長 漆 間 宣 隆</p> <p>岡山県久米郡久米南町里方八〇八 浄土院内 〒709-3602 〇八六七(二八)二三六四</p>

日韓仏教交流協議会

会 長 宮 林 昭 彦

神奈川県鎌倉市 材木座六一―七一―一九 大本山光明寺内
〒248-0013 〇四六七(二三)〇六〇三
F A X 〇四六七(二三)〇六二二

- 天台寺門宗
- 真言宗善通寺派
- 真言宗山階派
- 真言宗泉涌寺派
- 真言宗国分寺派
- 浄土宗西山禅林寺派
- 浄土宗西山深草派
- 真言高田派
- 真宗佛光寺派
- 真宗興正派
- 真宗木辺派
- 臨濟宗建長寺派
- 臨濟宗相国寺派
- 臨濟宗東福寺派
- 黄檗宗
- 法華宗本門流

- 法華宗真門流
- 本門法華宗
- 聖徳宗
- 華嚴宗
- 律宗
- 岩手県仏教会
- 栃木県仏教会
- 群馬県仏教連合会
- 千葉県仏教会
- 新潟県仏教会
- 石川県仏教会
- 福井県仏教会
- 長野県仏教会
- 静岡県仏教会
- 京都仏教会
- 京都府仏教連合会
- 兵庫県仏教会
- 和歌山県仏教会
- 鳥取県仏教連合会
- 島根県仏教会
- (社)徳島県仏教会
- 香川県仏教会
- 高知県仏教会
- 福岡県仏教連合会
- 長崎県仏教連合会
- 宮崎県仏教連合会
- 沖縄県仏教会
- 東京ブディストクラブ
- 仏教情報センター

暑中お見舞い申し上げます

賛助会員

【特別会員】

大本山東福寺 永井 慶洲
蓮華院誕生寺 川原 英照
大本山南禅寺 中村 文峰
尾道仏教会 松岡 昭禮
實相山中央寺 南澤 道人
信州善光寺 若麻績信昭
妙見閣寺 竹内 祥起
社団法人 仙台仏教会

【団体会員】

京セラ株式会社
東映株式会社
大和証券株式会社 法人サポート部
野村證券株式会社 法人企画部
朝日ビネコソリューション株式会社 (コンサルティンク業)

株式会社JTB 法人東京第一事業部 (旅行業)
トップツアー株式会社 (旅行業)
近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行業)
東日観光株式会社 (旅行業)
株式会社ビーエス観光 (旅行業)
財団法人ライフプランニングセンター (医療関連)

日本テンプルワシ株式会社 (寺院経営コンサルト)
株式会社四季社 (出版業)
株式会社三州社 (印刷業)
株式会社信天堂 (印刷業)
株式会社図書印刷同朋舎 (印刷業)

テイケイヘンデルアート (印刷業)
株式会社京念珠刑部
株式会社オードリー (保険代理店)
有限会社ルンビニ (保険代理店)
株式会社オメガム (翻訳、出版物企画・制作)

株式会社京扇堂 (扇子製造・販売)
株式会社公益社 (葬祭業)
株式会社ダイセイ (総合商社)

新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)
学校法人真宗大谷学園
全日本宗教用具協同組合

全日本葬祭業協同組合連合会

岩手県葬祭業協同組合
東京都葬祭業協同組合
神奈川県葬祭業協同組合
岐阜県葬祭業協同組合
名古屋葬祭業協同組合
愛知県葬祭業協同組合
京都中央葬祭業協同組合
大阪葬祭業協同組合
大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
徳島県中央葬祭業協同組合

福岡県葬祭業協同組合
長崎県葬祭業協同組合
社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会
一般社団法人 日本石材産業協会

【個人会員】

稲盛 和夫 (京セラ株式会社名誉会長)
社本 公一 (公認会計士)
池田 行信 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
石上 智康 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
塩月 光夫 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
中田 清吉 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
村上 智真 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
村橋 吉重 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)

天性寺 毛利 俊行 (山形県)
福聚院 伊達 廣三 (宮城県)
西福寺 志鳥 融光 (茨城県)
東栄寺 大森 忠篤 (埼玉県)
建福寺 安野 正樹 (埼玉県)
法瑠寺 矢島 浄純 (埼玉県)

本照寺 境野 哲秀 (東京都)
慈眼寺 櫻井 英幸 (東京都)
浄心寺 佐藤 雅彦 (東京都)
鈴木 朝雄 (東京都)

玉林禅寺 長谷 琢堂 (東京都)
玄向寺 荻須 眞教

信松院 西村 輝成 (東京都)
大蔵寺 佐藤 直道 (神奈川県)
金蔵院 眞田 有快 (神奈川県)

龍泉寺 壽山 良光 (神奈川県)
圓満寺 西郊 良光 (神奈川県)
正泉寺 野澤 隆幸 (神奈川県)
本光寺 木村 光正 (静岡県)

秋月院 近藤 真道 (愛知県)
光泉寺 松山 公顯 (愛知県)
寂光院 松平 實胤 (愛知県)
太福寺 佐久間大道 (宗会議員)

精明寺 正田 哲壽 (鳥取県)
川嶋 英彦 (千葉県)
櫻田 佳正 (京都府)
安田 容造 (京都府)

赤松 広隆 (民主党衆議院議員)
枝野 幸男 (民主党衆議院議員)
大串 博志 (民主党衆議院議員)
大西 孝典 (民主党衆議院議員)

楠田 大蔵 (民主党衆議院議員)
小宮山洋子 (民主党衆議院議員)
仙谷 由人 (民主党衆議院議員)
高木 義明 (民主党衆議院議員)

田島 一成 (民主党衆議院議員)
原口 一博 (民主党衆議院議員)
平岡 秀夫 (民主党衆議院議員)
前原 誠司 (民主党衆議院議員)

松本 謙公 (民主党衆議院議員)
松本 剛明 (民主党衆議院議員)
三日月大造 (民主党衆議院議員)
横光 克彦 (民主党衆議院議員)

和田 隆志 (民主党衆議院議員)
大塚 耕平 (民主党衆議院議員)
斎藤 嘉隆 (民主党衆議院議員)
佐藤 公治 (民主党衆議院議員)

福山 哲郎 (民主党参議院議員)
藤谷 光信 (民主党参議院議員)
前田 武志 (民主党参議院議員)

岩屋 毅 (自由民主党衆議院議員)
金子 恭之 (自由民主党衆議院議員)
河村 建夫 (自由民主党衆議院議員)

高村 正彦 (自由民主党衆議院議員)
下村 博文 (自由民主党衆議院議員)
高市 早苗 (自由民主党衆議院議員)

中川 秀直 (自由民主党衆議院議員)
長勢 甚遠 (自由民主党衆議院議員)
野田 毅 (自由民主党衆議院議員)

平沢 勝栄 (自由民主党衆議院議員)
保利 耕輔 (自由民主党衆議院議員)
赤石 清美 (自由民主党衆議院議員)

岩城 光英 (自由民主党衆議院議員)
片山さつき (自由民主党衆議院議員)
小坂 憲次 (自由民主党衆議院議員)

佐藤ゆかり (自由民主党衆議院議員)
鈴木 政二 (自由民主党衆議院議員)
谷川 秀善 (自由民主党衆議院議員)

中川 雅治 (自由民主党衆議院議員)
二之湯 智 (自由民主党衆議院議員)
自見庄三郎 (国民新党参議院議員)

浅尾慶一郎 (みんなの党衆議院議員)
金田 誠一 (前衆議院議員)
上川 陽子 (前衆議院議員)

暑中お見舞い申し上げます。

会長

河野 太通

顧問弁護士

長谷川正浩

副会長

大矢 實圓

菅原 栄光

正田 哲寿

理事長

有田 惠宗

常務理事

佐々木孝一

橋 正信

竹田 惠示

小林 正道

渡邊 照敏

庄野 光昭

松井 宗益

阿 純孝

岡部 快圓

川田 聖成

理事

森田 俊朗

岡野 正純

桶屋 良祐

瀬川 大秀

長谷部達徳

萩野 映明

山田 一真

本間 孝康

寺町 研山

吉田 教行

増田 貞圓

監事

中江 慈光

稲井 弘宣

五條 良宣

家森 宏善

漆間 宣隆

萩岡 裕明

玉久 圭澄

御木 徳久

末廣 久美

高山 久照

逸見 道郎

小峰 立丸

安孫子虔悦

座間 光寛

谷口 真祐

菅 智潤

壁瀬 宥雅

糟谷 眞教

吉井 惠貫

岡田 康秀

高倉 隆乘

吉川 惠教

矢吹 慈英

佐古 弘文

古谷 正寛

寺井 紹道

藤原 栄善

一月 正人

山口 和省

善國 乘憲

総務財政審議会

山崎 孝裕

尾井 貴童

小林 潤一

吉水 光慈

米田 宣雄

森 寛勝

松山 英照

杜多 道雄

芙蓉 良英

五十嵐賢二

大谷 義博

矢吹 慈英

木村 盛雄

高山 久照

林 惠智子

金田 義幸

古澤 勝浩

逸見 道郎

長谷川正浩

木村 匡成

社会人権審議会

伊藤 謙允

三 淨信

譽田 和人

伊藤 喬淳

三原 正資

深 真樹

神代 紹文

村上 圓竜

小宮 一雄

小島 惠真

南谷 惠敬

本多 静芳

守屋 友江

深澤 信善

飯島 惠道

馬島 浄圭

国際交流審議会

松尾 憲舟

桐林 三巳

禿 信敬

里見 嘉嗣

及川 玄一

村上 保壽

渡邊 宗徹

一鳥 正真

岡野 忠正

粕谷 利通

正本 乗光

坂本 観泰

岡野 正純

川橋 範子

小林 正道

塩入 法道

壽山 良光

竹内 祥起

ケネス田中

成田 孝英

渡辺 章悟

宗教教育推進委員会

宇野 全智

藤丸 智雄

柴田 達也

柴田 堯海

関谷 泰教

倉岡 弘叔

浅野 覚亮

齊藤 圓眞

細川 大憲

粕谷 利通

下田 正弘

星野 英紀

島衛 進

藤原 聖子

安井 育美

西岡 久善

広報委員会

山本 雅彦

宮川 善裕

篠原 亨栄

柴村 堯海

富川 大亮

岡部 兼海

並木 優記

福井 邦彦

杉本 栄次

上田 則夫

山本 昭弘

虎山 義秀

関岡 俊二

新倉 典生

井澤 孝一

宮寺 守正

事務総局

戸松 義晴

奈良 慈徹

東田 樹治

山崎美由紀

垣内 善勝

小山 智恵

社会人権部

加久保範祐

三浦 一実

田代 弘尚

広報文化部

西野 良嘉

中村 甲

国際部

入西 智彦

藤田 宗玄

嘱託

酒井 仁成

関西支局長

小宮 一雄

支局員一同

(敬称略)

被災地への腕輪念珠の寄贈について

この度、京都数珠製造卸協同組合さまから「被災された方々のお心が少しでも和らぐならば」との思い込めて、本会に腕輪念珠の寄贈がございました。

つきましては被災された方々や、檀信徒、ご門徒の方々にお配り頂きたく、被災地の各ご寺院さま及び僧侶による被災地支援団体に百連単位で無償でお送り致しております。ご希望の方は本会までご連絡下さい。

被災地支援活動に携わるすべての方々に対しまして、お怪我の無きよう心よりお祈りしております。

合掌

※サイズはフリーサイズのみです。

※色及び素材はお選び頂けません。何卒ご了承下さいませ。

お問い合わせ
全日本仏教会 社会人権部
〇三―三四三七―九二七五



全日本仏教会「賛助会員」新会員紹介

(一月十日～七月十日)

【特別会員】

妙見閣寺 竹内祥起
(社) 仙台仏教会

【団体会員】

朝日ビジネスソリューション株式会社
株式会社 四季社
日本石材産業協会

【個人会員】

自由民主党 参議院議員 佐藤ゆかり
建福寺 安野 正樹
玄向寺 荻須 眞教
民主党 衆議院議員 齋藤 嘉隆
鈴木 朝雄
(敬称略)

ご入会誠にありがとうございます。
引き続き、皆様のご入会をお待
ちしております。本会ホームページ
から賛助会員要綱・申込書など
が閲覧・プリントアウトできます。

http://www.jbfn.jp

事務総局録事

五月(十一日～三十一日)

ティニ・三号室)

十七日▼仏教伝道協会生田忠志事
業推進部長、古澤勝浩伝
道部長、新野和暢公益法
人移行準備室主任来局

十一日▼タイ国王誕生記念日・第
八回国連ベサックデー出
席(至 十三日)

▼第四回社会人権審議会

▼文化庁宗務課と打合せ
(於 文化庁)

▼本会后援映画『手塚治虫
のブツダ』完成披露試写
会出席(丸の内TOEI)

十八日▼福島県仏教会吉岡棟憲師、
関口孝俊師来局

十二日▼日本石材産業協会川本恭
央副会長来局

▼無料法律相談室

二十日▼監査会

▼臨海斎場にて蒲田仏教会
と被災者回向に参列

十三日▼内閣官房副長官補室武
木田雅大主査、外務省ア
ジア大洋州局北東アジア
課 大野郁彦日韓交流室
長・三木希視代外務事務
官来局

二十三日▼内閣府公益認定等委員
会で担当者との打合せ
(於 虎の門)

▼BNN企画委員会出席

二十四日▼真宗大谷派主催 宗祖
親鸞聖人七百五十回御
遠忌法要参列

▼局内会議

▼全葬連総会・懇親会出
席(於 品川プリンス
ホテル)

▼国際仏教興隆協会監査会
出席

▼文化庁宗務課と打合せ
(於 文化庁)

二十五日▼国際仏教興隆協会理事
会・監事会出席(於
増上寺会館)

▼自由民主法曹団五月定例
会出席(於 自民党リバ

▼自由民主法曹団五月定例
会出席(於 自民党リバ

▼自由民主法曹団五月定例
会出席(於 自民党リバ

▼自由民主法曹団五月定例
会出席(於 自民党リバ

本会の事業を ご理解頂くために

全国のご寺院にお願い
個人の入会にあつては、入
会希望者の菩提寺の推薦を
頂くことになりました。
加盟団体傘下の各ご寺院
の皆様にはご負担をおかけ
いたしますが、何卒宜しくお
願い申し上げます。

既に加盟団体各位には案内状を
送付致しておりますが、本会事業
説明の為に、加盟団体へ事務総局
員を派遣しております。宗会ある
いは総会の開催等の際にお時間を
頂きたく、何卒宜しくお願い致し
ます。

詳細は左記まで

全日本仏教会 総務部

電話 ○三三四三三七九二七五

FAX ○三三四三三七三二六〇

二十三年通常総会に

て本会事業説明(於

徳島ワシントンホテル

プラザ)

二十六日▼人権問題連絡協議会・

講演会(於 仏教伝道

センタービル)

二十七日▼局内会議

▼無料法律相談室

三十一日▼第二回理事會 第一回

評議員會・参与會(於

リーガロイヤルホテル

京都)

六月(一日〜三十日)

六日▼局内會議

七日▼民主党仏教議員連盟總會出

席(於 参議院議員會館會

議室)

八日▼総務財政審議會

十日▼『寺門興隆』取材のため来局

▼BNN企画委員會出席

十三日▼真言宗大覚寺派黒髮宗務

総長・財務部長来局

十六日▼日本石材産業協會總會出

席(於 機械振興會館)

十七日▼日宗連第三回幹事會出席

(於 本會會議室)

▼東京都仏教連合會總會・

研修會・懇親會出席(於

本願寺築地別院)

▼「法然と親鸞ゆかりの名

宝」報道発表會出席(於

日本外国特派員協會)

十八日▼宮城県名取市主催東日本

大震災の合同慰霊祭及び

名取市仏教會主催合同供

養祭参列(於 名取市文

化會館)

二十日▼自由民主法曹団六月定例

會出席(於 自由民主党

本部)

二十一日▼芝仏教會来局

▼「墓地・墓石に関する

消費者意識調査」につ

いて申請状況報告と第

一回委員會・懇親會出

席(於 日本石材産業

協會事務所)

▼福島県仏教會提出要望

書を官房長官、副官房

長官へ手交(於 総理

官邸)

二十二日▼文化庁文化部宗務課訪

問

二十三日▼愛媛県仏教會へ本會事

業説明

二十四日▼無料法律相談室

二十七日▼局内會議

二十八日▼指定寄附金に関する説

明會(於 明照會館第

一會議室)

二十九日▼天台宗務庁訪問

▼(社)部落解放・人権研

究所第七十四回總會出

席(於 大阪博物館ホ

ール)

三十日▼BNN運営委員會・總會・

懇親會出席(於 明照會

館會議室)

▼第三十三回埼玉県佛教徒

大會出席(於 さいたま

市民會館いわつき)

▼日韓仏教交流協議會西郊

良光理事長来局

▼第三十六回同宗連部落解

放基礎講座参加(於 真

言宗豊山派宗務所)

表紙写真紹介

「老岐島のはらほげ地蔵さま」

海に浸かる、お地蔵さま。その

写真をみたときに、「会いたい！」

と私の心は一気に旅モードになり

ました。場所は、長崎県壱岐市。

博多や佐賀県の唐津からフェリー

で行ける玄界灘に浮かぶ島です。

お地蔵さまは、「はらほげ地蔵

と呼ばれています。「ほげる」と

いうのは、「穴があく」という九

州の方言。つまり、お腹に穴が開

いたお地蔵さまということです。

満潮のときには胸くらいまで浸

かるそうですが、潮がひくと足下

まで行つてお参りできます。私は

わずかに残る海水に足を浸けなが

ら、お参りをさせていただきました。

前かけの中をみせていただく

と、本当にお腹にはまん丸の穴が

あいていました。

「なぜ?どうして?」と疑問で

いっぱいになります。理由はわ

かっていないそうです。お賽銭や

お供物を入れる穴だとも、疫病が

流行ったときにお腹の痛みを取り

除いてくれるためだとも……。

多くの人が「海」に関わる仕事

をしている壱岐の人たちを守る仏

さまとして、海に浸かるお地蔵さ

まはピッタリな気がしました。い

つも海の安全を見守ってください

ているのでしょうか。

仏像ガール®

無料法律相談室

長谷川正浩弁護士、
第二、第四木曜日の
午後開催しております。
本会事務局総局03
(3437)9275へ事前予
約の上おいで下さい。

「福島第一原子力発電所事故から 子どもたちを守る要望書」を 菅直人内閣総理大臣へ提出

本会では、標記の件に関しまして、6月21日午後4時40分に本会理事長、福島県仏教会会長名の要請書を菅直人内閣総理大臣へ提出いたしました。(要望書全文は本会ホームページに掲載)

当日は、三村眞城福島県仏教会会長、戸松義晴事務総長らが福山哲郎内閣官房副長官を通じ枝野幸男内閣官房長官に要望書を手交、菅直人内閣総理大臣へ提出いたしました。

本会は今後も(被災地支援の一環として)要望書等の提出及び常設しております救援基金の募集及び支援金の拠出など、被災者支援活動を推進してまいります。



(左より) 関口孝俊曹洞宗福島県宗務所教化主事、吉岡棟憲福島県仏教会副会長、三村眞城福島県仏教会会長、枝野幸男内閣官房長官、福山哲郎内閣官房副長官、戸松義晴全日本仏教会事務総長

真言宗大覚寺派・静岡県仏教会より救援基金へ

6月13日 黒髪寛延真言宗大覚寺派宗務総長より、浄財500万円を本会救援基金へご寄託頂きました(写真左)。

7月5日 稲井弘宣静岡県仏教会会長より、静岡県の各仏教会よりお集めいただいた浄財5,435,165円を本会救援基金へご寄託頂きました(写真右)。



静岡県仏教会内寄付団体一覧

静岡県仏教会・北遠仏教会・仏教婦人会・富士市仏教会・浜松仏教会・福田仏教会・御殿場市仏教会・葦山仏教会・豊田仏教会
正醫寺 太田尚司・細江町仏教会・富士川仏教会・金谷仏教会・島田市仏教会・竜洋仏教会・静岡清水仏教会・伊東仏教会・下田仏教会・掛川市仏教会・周智仏教会・東光寺(裾野市)・浜北仏教会・田方仏教会・静岡清水仏教婦人会・清水仏教会 達磨寺・浅羽仏教会・熱海仏教会・榛南仏教会・三島仏教会・田方仏教会中伊豆分会・龍源寺(伊豆の国市)・小山町仏教会・藤枝、志太仏教会・菊川市仏教会菊川支部・良泉寺(南伊豆町)・東林寺(南伊豆町)・法泉寺(南伊豆町)・田方仏教会土肥分会・常雲寺(伊豆の国市)・引佐仏教会・昌徳院(伊豆市)・浜北仏教会・川根仏教会・伊東仏教会・西伊豆仏教会 (順不同・敬称略)